



きずな

札幌市サッカー少年団8人制 (U-10) 大会 兼 第28回札幌市スポーツ少年団 サッカー交流大会

優勝 若葉ボンバーズ
準優勝 宮の森
第3位 前田中央
第3位 フォーザ

秋空のもと行われた本大会。各区の代表16チームが優勝を目指し、熱戦が繰り広げられました。



決勝		
9月28日(日) コンサドーレG		
宮の森		若葉ボンバーズ
1	1-2 0-0	2

迎えた決勝戦。開始早々から攻勢をかけたのは、若葉ボンバーズだった。風上に立った利点を生かし、若葉ボンバーズは相手ゴールに襲い掛かる。1分、キーパーからのロングキックで裏のスペースへ抜け出した若葉ボンバーズ⑨が、右隅へ流し込みゲームを一気に優位に進める。ただ、宮の森も集中を切らさずに、その後は堅実な守備で対応する。キーパーを中心に守る宮の森にもチャンスの時間帯が5分過ぎから訪れる。宮の森の⑭のロングシュートを皮切りに怒涛の攻め。しかし、若葉ボンバーズのキーパーの攻守に阻まれゴールならず。しかし迎えた10分。左サイドで得たFKを宮の森の⑭が直接狙う。一度はバーに嫌われるもののDFに当たりゴールイン。ついに同点に追いつく。しかし若葉ボンバーズは、前半終了間際、味方のロングシュートのこぼれ球に反応した若葉ボンバーズの⑨が押し込み決勝点。そのまま、若葉ボンバーズが優勝を決めた。

準決勝		
9月28日(日) コンサドーレG		
前田中央		宮の森
0	0-1 0-0	1

強風が吹くコンサドーレグラウンド。風上に立った時にどれだけ優位にゲームを進めるかが大きな鍵を握る準決勝となった。初めに風上に立ったのは前田中央。ゴールを積極的に狙い、裏のスペースを活用しながら攻撃を組み立てる前田中央だが、なかなかゴールをこじ開けることができないまま時間が経過していく。迎えた11分。宮の森⑭が相手のクリアミスをダイレクトでシュート。見事ゴールネットを揺さぶり、宮の森1点リードのまま、前半を終える。後半の巻き返しを誓い、ベンチ前で円陣を組み、後半戦のスタートを切った前田中央。22分に、前田中央が決定機を迎える。しかし、シュートはポストに嫌われゴールならず。その後もロングボールにヘッドで合わせゴールに迫るも、宮の森DFの体を張ったディフェンスと、キーパーの好セーブに阻まれる。最後まで勝負を諦めないナイスゲームとなった準決勝。1-0で宮の森が勝利を収めた。



準決勝

9月28日(日) コンサドーレG

フォーザ

若葉ボンバーズ

2

1-2
1-1

3

ハイプレッシャーの両チーム。開始早々から好ゲームの予感。FWにくさびを入れ、ゲームを組み立てるフォーザに対して、中央を個人技でぐいぐいと突破していく若葉ボンバーズ。先制点を叩き込んだのはフォーザだった。10分に得たコーナーキックから㊦がゴール。しかし、若葉ボンバーズも負けてはいない。13分には㊦がゴールをこじ開け同点に。続く14分には㊦がDF裏へ抜け出し逆転ゴール。若葉ボンバーズリードで前半を終える。迎えた23分、フォーザが底力を見せる。コーナーキックから直接決めて同点とする。その後も互いのストロングポイントを出し合い、どちらに転んでもおかしくない展開に。誰もが後半終了かと思った29分。若葉ボンバーズ㊦が左サイドを突破し、ゴール左上に突き刺し劇的ゴール。若葉ボンバーズがフォーザを振り切り決勝へと駒を進めた。

